

## 「ありがとう」が止まらない！

第13期 平久 千紘

卒業エッセイを書くためにパソコンに向かい合うと何時間も過ぎてしまう。書いては悩み、消し、を繰り返しているためである。そこで、卒業エッセイを書くにあたって私が本当に伝えたいことは何か考えてみた。すると、それは、多くの人への「ありがとう」という感謝の気持ちだと気づいた。ありきたりだが、こんなに1つのコミュニティに対して「ありがとう」を伝えたいと感じ、残しておきたいと願ったのは人生初である。【第12期の先輩方へ】等身大の先輩として親しみやすく接してくれた第12期の先輩方。ちょうど1年前の昨年2月、第12期の先輩方の卒業エッセイを読んで泣いてしまっただけくらい慕っていました。特に、関マケ当日、多くの第12期の先輩方が応援に来てくださったことは今でも鮮明に覚えています。最終発表の大舞台上、緊張のあまり足がすくんでしまった私は、会場にいらっしゃる第12期の先輩方の優しい視線に救われました。ありがとうございました。【第13期へ】尊敬できる所を全員が持っている大好きな同期。感情が一定なイケメンゼミ長おぐ、努力家なおしゃれ番長かわむー、ゆるいしっかり者みずき、なんだかんだ楽しいたいせい、センス抜群ツンデレゆーやん、落ち着きと癒しのやすと、頼りになる（時もある）しみっちゃん、実は仲良しなサンディー、面倒見の良いきだちゃん、計画性ピカイチなごいけー。言い合ったり、気まづくなったりしたこともあったけど、それ以上に楽しかったことが多すぎる。マイナスとプラスで相殺したら、絶対にプラス。本当にありがとう。【第14期へ】昨年3月に出会った、かわいい後輩。第14期に出会ってから、私は、先輩として、ゼミ活動に対し目的意識を持って取り組むようになった。そして、以下のような目標を立てた。①本ゼミでは、毎回フィードバックをする ②第14期とたくさんコミュニケーションをとる ③卒論で商学会賞を目指す（途中から④夏ケースを解題する、というのも加わった。）②は守れたかわからないが（笑）、第14期が一生懸命ゼミ活動に取り組む姿は、私の成長を後押ししてくれた。ありがとう。【大学院生の方々へ】論文執筆ではご自身の研究のように考えてくださるという頼りがいのある先輩、その反面、飲み会では気さくで楽しい先輩。お世話になりすぎて頭が上がりません。ありがとうございました。【OB・OGの皆様へ】私はゼミ活動で息詰まると過去のOB・OG会誌を遡って読んでいました。先輩方の行動の裏にこういった想いがあったのか、と先輩方のエッセイは私に大きな学びと気づきをいつも与えてくれました。ありがとうございました。【小野先生へ】入ゼミ面接で45分間も時間がかかった問題児の私を小野ゼミに入れてくださって、育ててくださってありがとうございました。後期納会で小野先生が「発表、楽しかったよ。」と声をかけてくださった際、私は「発表、いや小野ゼミでの2年間、楽しかったです。」と答えました。小野ゼミでの2年間を一言で表すなら、「楽しかった」しかありません。楽しい2年間を過ごした小野ゼミ。やはり私は、小野ゼミへ「ありがとう」が止まらない！